

# 飼料用イネ品種栽培の ポイント



独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
農林水産省 農林水産技術会議事務局

# ○飼料用イネ専用品種の欠株防止のポイント

## 1. 移植・直播とも播種量に注意！

◎飼料用イネ専用の新品種は、識別性のため大粒～極大粒のものが多く、従来の食用イネの播種量をそのまま適用すると、欠株が増えたりや苗立ち不足になります。使用品種の千粒重を考慮して播種量を設定しましょう。

品種名	玄米千粒重(g)
クサユタカ	34.5
ホシアオバ	29.4
クサノホシ	24.3
クサホナミ	20.3
はまさり	18.5
夢あおば	26.5
ニシアオバ	31.1
奥羽飼380号	34.8
奥羽飼387号	31.0
ふくひびき	24.4
一般食用品種	20～23

表1. 主な飼料用イネ品種の玄米千粒重

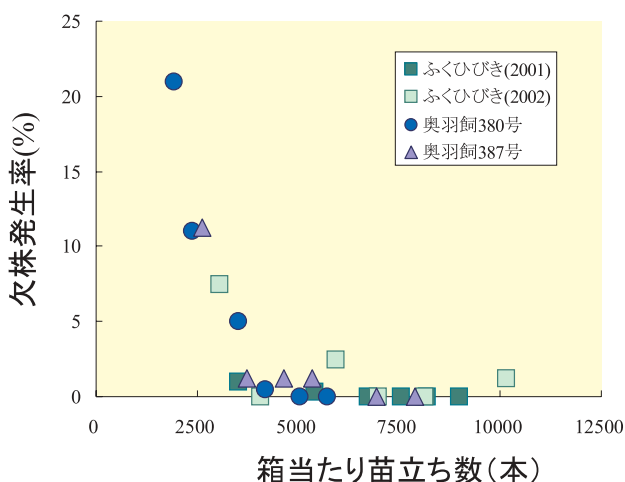


図1. 苗箱当たり苗立ち数と欠株発生数の関係の例

各品種・系統とも苗箱当たり苗立ち数が不足すると移植時に欠株が増える。

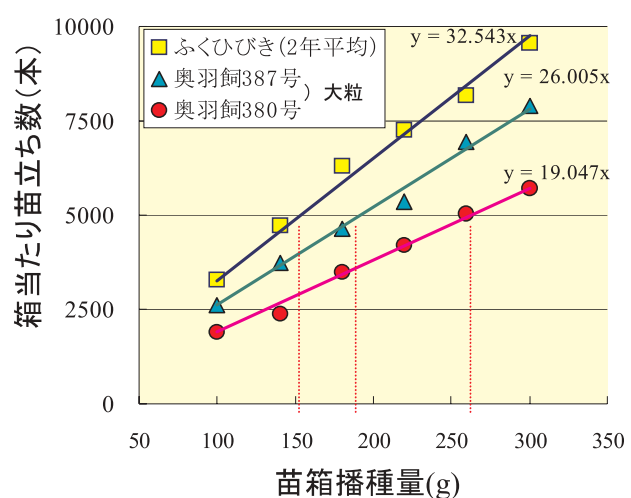


図2. 苗箱播種量と苗立ち数との関係の例 (赤破線: 品種毎に苗立ち数5000を確保するための苗箱播種量の目安)

苗立ち量を十分に確保できる播種量は粒の大きさで異なり、大粒品種では増やす必要がある。

## ○安定多収のためのポイント

### 1. 飼料用イネ品種は密植・密播で

◎飼料用イネ品種の多くは分けつの少ない「少げつ型」のため、密植・密播栽培で多収となります。少げつ型品種の場合、とくに直播栽培では食用イネより高い苗立密度を目標にしましょう。

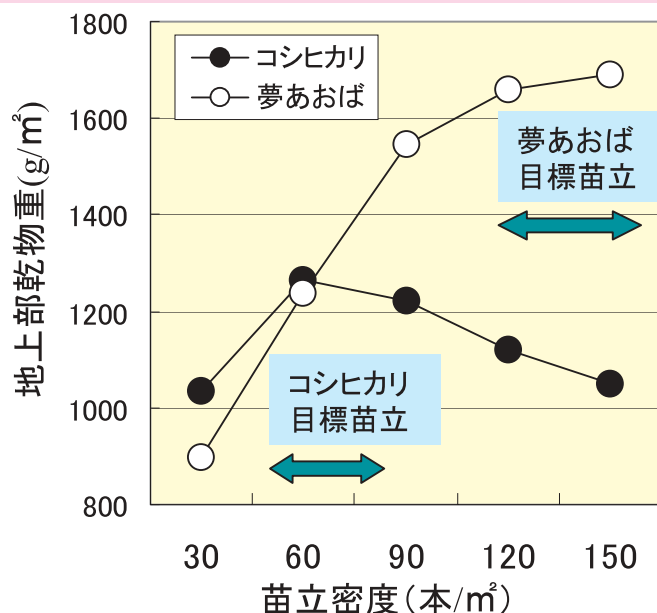


図3. 湛水直播での苗立密度と乾物収量(夢あおばの例)

### 2. 多肥栽培で多収確保

◎飼料用イネ品種の超多収性を活かすには、多肥栽培が有効です。分けつ期に追肥するなど、窒素施用量を食用イネの基準より増やすことで多収が得られます。

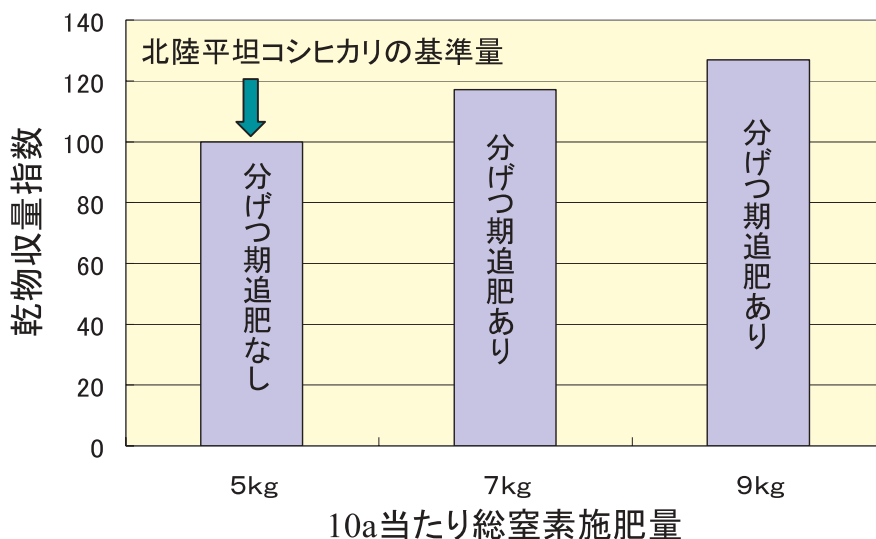


図4. 窒素施肥量と飼料用イネの収量(クサユタカの例)

## ○家畜排泄物の活用のためのポイント

### 1. 堆肥と化学肥料との併用で安定多収

◎飼料用イネ栽培では畜産との連携で牛糞堆肥などの利用機会が増えます。地力向上のためにも望ましいですが、堆肥だけでは安定多収は得られません。化学肥料との併用が有効です。(未熟堆肥の施用等、堆肥品質には注意しましょう。)

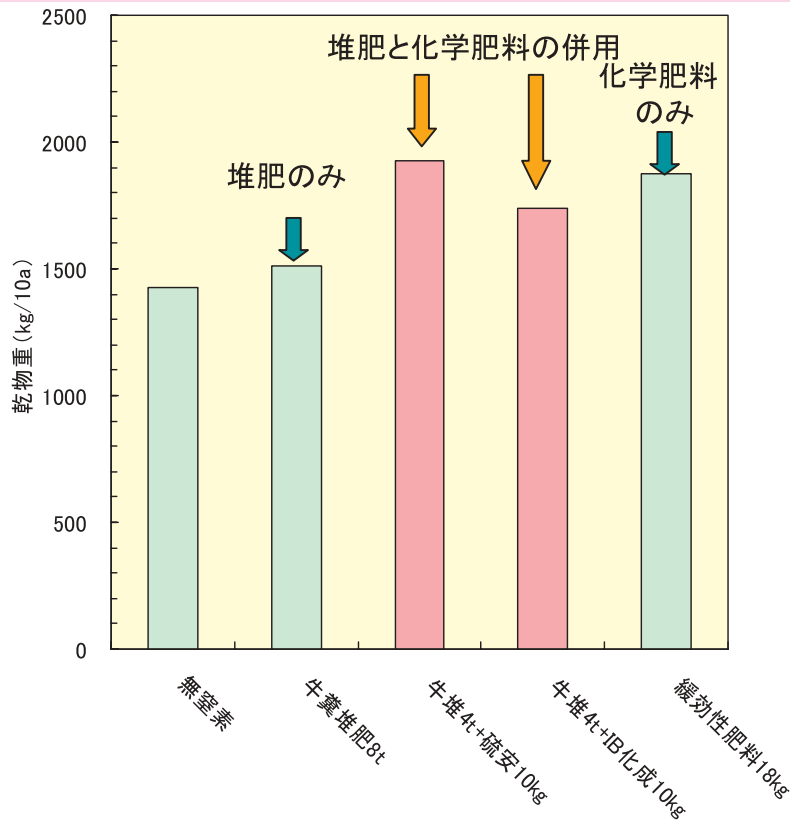


図5. 堆肥及び化学肥料の施用法と収量(西海203号の例)  
数値は堆肥(完熟)、化学肥料とも10a当たり合計施用量

### 問い合わせ先

#### ・栽培について

(品種毎の栽培特性・具体的な栽培ポイントについては下記の研究チームにご相談下さい。)

中央農業総合研究センター 北陸研究センター 北陸大規模水田作研究チーム  
〒943-0193 新潟県上越市稲田1-2-1 TEL:025-526-3241

東北農業研究センター 東北水田輪作研究チーム  
〒014-0102 秋田県大曲市四ツ屋字下古道3 TEL:0187-66-2776

九州沖縄農業研究センター 九州水田輪作研究チーム  
〒833-0041 福岡県筑後市和泉496 TEL:0942-52-0681

#### ・パンフレットについて

畜産草地研究所  
〒329-2793 栃木県那須塩原市千本松768 TEL0287-36-0111